

令和4年度 横浜市交通安全対策会議 会議録

日 時	令和4年10月18日(火) 14:00~15:00
開 催 場 所	市庁舎18階 共用会議室みなと1・2・3
出 席 者	黒田隆行委員、大矢徹委員、千葉幸則委員、近内勝明委員、久保田恒美委員、菅原彰委員、高瀬卓弥委員、鯉淵信也委員、平中隆委員、五反田佐千子委員
欠 席 者	山中竹春会長、吉野哲也委員、富澤桂子委員、出口洋一委員
開 催 形 態	公開(傍聴者0人)
議 題	1 「交通安全についての目標」の新たな設定について 2 令和4年度 横浜市交通安全実施計画(案)について
決 定 事 項	1 議案1について承認された 2 議案2について承認された

1 市長メッセージを映写

「皆様、こんにちは。横浜市長の山中竹春です。本日はご多忙の中、お集まりをいただき、誠にありがとうございます。皆様には日頃より、交通安全施策をはじめ、横浜市政に多大なるお力添えを賜り、厚く御礼申し上げます。

横浜市内での令和3年中の交通事故死者数は36人と、統計史上、最少となりました。

しかしその一方で、同年5月には、市内で下校中の児童が命を奪われるという、大変痛ましい交通事故が発生しています。滋賀県大津市や千葉県八街市で、園児や児童が亡くなった事故も記憶に新しく、今、子どもの交通安全対策は、大きな社会問題になっています。通学路における子どもの交通事故死をゼロにしたい。その思いで、横浜市は、新たな取組をスタートします。

ETCで収集される車両速度などのビッグデータや、警察が保有している交通事故データなどから、小学校の通学区域ごとに危険箇所を可視化した地図を作成し、小学校での活用を進めます。ハードとソフトの両面での交通安全対策に取り組み、未来を担う子どもたちの安全を守っていきます。

先日、素案を公表した、横浜市中期計画では、「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」を基本戦略としました。

子どもたちに優しい街は、どなたにとっても優しい街です。今後も交通安全対策会議の皆様と手を携え、交通安全施策の充実に向けて、力を尽くしてまいります。

どうぞよろしく願いいたします。」

2 議題1及び議題2について

(高瀬議長) 議題について事務局から説明してください。

(事務局) 資料1、資料2に基づき説明。

(高瀬議長) 議題について意見、質問はあるか。

(事務局) 本日欠席の出口委員から、事前に意見をいただいておりますので、読み上げます。

「通学路における子どもの交通安全対策は、度重なる悲惨な事故から社会問題となっており、狭あいな道、見通しの悪い交差点など、市内の道路事情から見ても重要な課題だと感じています。区役所の取り組みとしては、啓発事業などソフト面の対策が中心となりますが、警察署、スクールゾーン対策協議会及び所管の教育委員会、交通安全協会をはじめとする関

係団体の皆様と一層の連携を図り、通学路の安全確保に取り組んでいきたいと考えています。」

(久保田委員) 県警としても、各関係機関や関連団体と連携して取組を進めていきたい。

「通学路における子どもの交通事故死ゼロ」について、2点質問がある。

①通学中だけではなく、時間帯に関係なく交通事故死ゼロを目指すのか。

②「子ども」の概念について、県警本部の統計を取るうえでのルールでは「中学生以下」としているが、「子ども」の範囲についてどう考えているのか。

(事務局) ①について

究極的な目標としては、時間帯に関係なく、子どもの交通事故死をゼロにしていくことを目指していきたいと思いますが、まずは、登下校中の子どもの交通事故死ゼロを目指していきます。

②について

「子ども」の解釈は、県警の交通事故統計データと同様に、未就学児、小学生、中学生です。また、目標については、通学路上における登下校中の事故を対象としています。なお、目標の対象かどうかと、対策をするかしないかは別問題ですので、通学路以外の場所についても、必要に応じて対策を行っていききたいと考えています。

(久保田委員) 承知した。

(近内委員) 議案1の目標「年間の交通事故死者数36人以下」について、本日の会議で承認された場合、議案2の「横浜市交通安全実施計画(案)」に記載されている「年間の交通事故死者数45人以下」は、「36人以下」に変わるのか。

(事務局) 議案1の「36人以下」は、令和5年度からの目標であるため、議案2の令和4年度の実施計画(案)の目標は、「45人以下」のままとなります。

(近内委員) 「通学路における子どもの交通事故死ゼロ」という目標についても、令和5年度からの目標であるという理解でよいか。

(事務局) そのとおりです。

(近内委員) 承知した。

(高瀬議長) その他、議案について意見、質問はあるか。

(意見、質問なし)

(高瀬議長) 議案1及び議案2について、承認ということでよいか。

(委員) 異議なし。

3 その他

久保田委員から、神奈川県内における交通事故の発生概況、電動キックボードに関する情勢について情報提供があった。

資	料	1 次第、委員名簿、横浜市交通安全対策会議条例
		2 【資料1】「交通安全についての目標」の新たな設定について
		3 【資料2】横浜市交通安全実施計画(案)

	<p>【参考資料】</p> <ul style="list-style-type: none">・記者発表資料「神奈川県内初!! 『ゾーン30プラス』を設定しました」・横浜市中期計画 2022～2025（素案）における交通安全の取組
特記事項	市長メッセージは後日 HP に掲載